

いわきFC J2昇格



いわきFCの歩み

- ◆12年 東日本大震災発生から1年がたった6月、いわき市に「いわきFC」が創設される。
- ◆13年 11月に一般社団法人いわきスポーツクラブを設立
- ◆15年 株式会社ドームが東日本大震災からの復興や地域活性化を掲げ、物流センター「ドームいわきベース」の建設とサッカークラブの立ち上げを計画。同年12月に「株式会社いわきスポーツクラブ」を創設し、一般社団法人いわきスポーツクラブからいわきFCの運営権を譲り受ける。
- ◆16年 湘南社長だった大倉智氏がいわきスポーツクラブの社長に就任。福島県2部リーグ優勝
- ◆17年 福島県代表として天皇杯初出場。同1部リーグ優勝
- ◆18年 東北2部リーグ優勝。
- ◆19年 東北1部リーグに優勝し、全国地域サッカーチャンピオンズリーグも制す。JFLへ昇格
- ◆20年 1月、いわき市に加え双葉郡の8町村もホームタウンとする。JFL 1年目7位
- ◆21年 JFL 2年目優勝。J3昇格
- ◆22年 J3参戦

サッカーJ3のいわきFCは11月6日(日)、Jヴィレッジスタジアムで行われたリーグ第32節で、鹿児島ユナイテッドFCを3-0で下し、J3参入1年目でのJ3優勝と来季のJ2昇格を決めました。

この日の来場者数は、ホーム戦最多となる4419人。優勝の瞬間を待ちわびるかのように、スタジアムがいわきFCサポーターで埋め尽くされ、選手のプレーを後押ししました。本格始動からわずか7年、一歩一歩階段を上り、「90分間止まらない、倒れない」サッカーを貫き通しました。

広野町はいわきFCの挑戦を応援し続けます。11月20日(日)に行われたホーム最終戦の試合前に、遠藤町長は、詰めかけたサポーター、関係者の皆様に、被災地に大きな夢と希望を与えてくれたことへの感謝の意をスピーチしました。



株式会社いわきスポーツクラブ
代表取締役兼総監督 大倉 智 様

広野町の皆さま、日頃よりいわきFCへご声援いただきまして誠にありがとうございます。ごさいます。

いわきFCは11月6日、Jヴィレッジスタジアムで行われた鹿児島ユナイテッドFC戦に勝利し、J3優勝することができました。

2016年シーズンからスタートして7年目。何よりうれしく思うのは、Jヴィレッジスタジアムに4419名という多くのお客様が集まってくださったということでした。

強いから地域に応援されるのではなく、地域に応援されるからチームが強くなる、選手が成長している。そんな実感があります。

ブランドとは人であり、人の姿勢でできていく。そのことを痛感しております。来シーズンからはJ2という舞台にはなりますが、



いわきFC MF (FAカテゴリー出身)
宮本 英治 選手

いつもいわきFCを応援してくださりありがとうございます。ごさいます。

自分自身、JFAアカデミー福島出身ということもありいわきFCでプレーしていることは大変うれしく思います。

シーズンを通してたくさんの方に応援いただき、自分自身も楽しくプレーできました！

もっと皆さんに応援していただけるよう、チームも自分自身も頑張ってください。FCの応援よろしくお願致します！



J2昇格を祝し広野産米コシヒカリを贈呈する遠藤町長(左から2人目)



いわきFCマスコットキャラクター「ハーマー & ドリー」との交流